

# BOATMEN

NPO法人 石川県小型船安全協会会報「ボートメン」 33号 (2021年12月発行号) Vol. **33**

トピックス …… クロマグロの禁漁、海釣りルールを守ることの徹底。など

活動報告 …… マリンレジャーのパトロール、石川県防災訓練参加、海難訓練、海の授業など

行政から …… 第9管区管内の事故の状況、金沢・七尾海上保安部着任のご挨拶

ざぶん賞受賞作品 © ポートマンズエッセイ・雨の日の海

## ベテランの皆様の海難事故が増加。 気を緩めず、常に安全行動を！

65歳以上の船長による事故が多くなっています。必ず次の行動をとりましょう。

- ・ 普段の体調管理を適切に行う。
- ・ 単独で行動せず、複数で行動する。
- ・ 救命胴衣は常時着用。
- ・ これまでの経験だけで判断しない。

## クロマグロが資源保護のため、禁漁となりました。

石川県水産課より8月20日付でクロマグロの採捕について規制されました。本件は水産庁、および全国各地の広域漁業調整委員会から、資源保護の理由で公示されたものです。

- ・規制内容：遊漁によるクロマグロの採捕を全面禁止
- ・規制期間：令和3年8月21日～令和4年5月31日

6月時点では、30kg以下の小型魚のみ採捕禁止という案内をお送りいたしました。その後想定を超える量の採捕が行われたため、大型魚含め、日本の海域での採捕が前面禁止となったものです。

密漁については3年以下の懲役、または3,000万円以下の罰金が科せられます。

また漁業権を侵害した場合は100万円以下の罰金が科せられます。会員の皆様にはご理解、ご協力をいただくとともに、知識や理解が乏しい遊漁者へのご指導もお願いいたします。

石川県での海釣りのルール

禁止事項について今一度ご確認をお願いいたします

### 禁止事項

1. カキ養殖施設の周囲50m以内でのまき餌
2. いわのり漁場の近く、および舳倉島燈台、七ツ島大島燈台、嫁礁燈台の各半径5海里以内でのまき餌
3. 定置網漁具の周囲200m以内での釣り
4. 引き縄釣り(トローリング)

また、マナーとして

- ・まき餌は最小限で。
  - ・ごみは海に捨てずに必ず持ち帰る。
  - ・漁業者の妨げとなる行為は行わないこと。
- などを徹底願います。

## 小中学生の海や水の作文公募、ざぶん賞2021は中止となりました。

今年20回目となるざぶん賞は、コロナ感染症の影響が続き、一部の地域を除き、事業が中止となりました。

2000年に当会が海の祭典の協賛事業として第1回目を開催、その後関係者から継続の意義があるという意見が多く寄せられ翌年から実行委員会(現財団)を設け、筑紫哲也氏を会長に就任いただき、募集範囲を全国に広げました。

その後、年々応募者が増加、全国から約1万作品が応募される事業へと発展。活動が高く評価され、全国の関係者の協力で、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、海上保安庁長官賞、水産庁長官賞の交付をいただく事業へと発展しました。

一方20年を経過し、事業をとりまく教育環境、生活様式、また地球環境問題も大きく変化しました。今後は次代が求める事業へと内容を現在検討中です。

## コロナウイルス感染症防止のため、今年も事業の多くが中止となりました。

新型コロナウイルス感染症がさらに拡大、継続した本年度は、その防止のため、当会も多くの事業や会合、などが中止となり、最低限の事業を実施するに留まりました。

特に夏のシーズンの子どもたちやご家族が参加する体験航海や海の教室など、交流するイベントはすべて中止しました。

## 総会にて事業計画・予算が承認 役員会も再開。

### 3月 総会書面審議、1月、10月 役員会

通常総会は昨年引き続き書面にて審議されました。

通常の安全指導、パトロールの活動強化、ライフジャケットの着用徹底、海洋体験推進事業、文化創造事業などの計画が承認されました。またコロナ感染者の減少傾向が見られた時点で、役員会を2回開催しました。

会では当会がNPO法人になり、20年を経過することから、記念事業や新たな方向性について意見交換がなされました。

## 春の合同安全パトロール

### 4月25日 金沢港(金沢支部)

金沢支部は、金沢海上保安部の協力のもと、5月の連休からの海洋レジャーシーズンを見据え、合同安全パトロールを実施しました。

当会安全パトロール艇3隻が参加。金沢海上保安部員に同乗いただき、沖合のレジャー船数隻に、安全の注意喚起とともにリーフレットなどを海上で配布しました。

また陸上では金沢港内をパトロールし、釣りなどを行っている一般の方々にも啓発活動を行いました。



## 海の事故ゼロキャンペーン、合同パトロール出動式

### 7月22日 七尾港(能登支部)

7月16日から31日の「海の事故ゼロキャンペーン」期間において、七尾港にて出動式を行いました。

会員6名、七尾海上保安部長、保安部員及び巡視艇はまゆき乗組員、七尾警察署長をはじめ地域課の職員及び警備艇いしかわ乗組員が参加しました。

七尾海上保安部長、七尾警察署長、当会、中越能登支部長の挨拶の後、巡視艇はまゆき、警備艇いしかわ、安全パトロール艇の順で出発しました。

途中「いしかわ子ども自然学校」の一環として能登高校おとり丸に乗っていた子供たち約30名に手を振り、海の上の楽しさをPRしながらも、港口においてPBやカヌーに対し安全指導を行いました。



## ミニボートへの安全啓発や、ビーチでの安全パトロールを実施

7月11、18、24日 白山市海域(加南支部)

夏のレジャーシーズンにおいて、手取会の海上安全指導員が、県内各地でも増加しているミニボートへの安全啓発を、金沢海上保安部員とともに行いました。

また、陸上からは白山市の徳光海岸で、パトロールを実施。各種アクティビティを楽しむ一般の愛好家に、安全啓発を行い、安全手帳などを配布しました。



## 石川県総合防災訓練に参加。海難救助訓練も実施

9月8日 穴水湾(能登支部)

石川県総合防災訓練が穴水町をメイン会場に行われました。前年はコロナ感染症の影響で中止となりましたが、本年度は規模を縮小し開催されました。当会からは中居マリン協会の2隻が参加。前回同様、ある地域が陸路を絶たれたとの想定で、当会の小型船が海上で自衛隊の艦船から物資を受け取り、港に運びトラックに渡すという訓練を行いました。



## 海難救助訓練

物資搬送後、海上保安部とともに、海難救助訓練を行いました。漂流する転落者を小型船で救助し、海上で海上保安部の巡視船に、さらに巡視船から同部のヘリコプターに搬送するという一連の訓練を行いました。



## 児童館・小学校に安全教室のDVDを配布しました。

7月29日 白山市(加南支部)

手取会が毎年行っている、白山市のこども園と小学校での「海の授業」は、コロナ感染症防止のため中止し、代わりに安全教室のDVD教材を配布いたしました。



## 県民の森の植樹、草刈りを継続。

5月27日、6月28日 加賀市 県民の森(加南支部)

大協マリンクラブは、毎年の恒例事業となっている、加賀市山中の県民の森で、草刈りを実施しました。



## 県海面利用協議会に出席。

11月8日 石川県庁

本年度の県海面利用協議会が開催。この会の会長代理兼遊漁者代表として委員を委嘱されている濱田理事が出席しました。会ではクロマグロの禁漁に関する徹底方法について協議されました。委員からは、もしクロマグロが釣れた際にはどのようにリリースするかも周知すべきとの意見がありました。

また、コロナ禍になってからマナーが悪い釣りが増加したと思われることから、漁業者とのコミュニケーションをとり、良好な関係で遊漁者を教育することも必要という意見がありました。

事務局からは、昨年外国人居住者の密漁が増加しているため、多国語の看板を立てるなど啓発を強化したいとの報告がありました。

## お知らせ

### 海上安全指導員4名に国土交通大臣賞 が授与。海事関係者の表彰

7月27日 ポートサイド七尾(七尾市)

海上安全指導員9名に海事功労者の感謝状が渡されました。

#### 受賞者と所属団体

##### ●国土交通大臣賞

池田 悟氏  
(羽咋マリンクラブ)

岡川純一郎氏  
(七尾マリン協会)

竹内信夫氏  
(手取会)

中越政秀氏  
(七尾マリン協会)

##### ●海上保安庁長官表彰

濱田英一氏  
(マリンフィッシングクラブ)

南野吉宏氏  
(マリンフィッシングクラブ)

##### ●第九管区海上保安本部長 表彰

白木眞一氏 (加賀マリンクラブ)

##### ●七尾海上保安部長表彰

坂 登三雄氏 (長浜マリン協会)

橋場義久氏 (七尾マリン協会)



50音順

## 海上安全指導員の紹介

本年度、新たに上田雄次氏(手取会)、中野清隆氏(小松マリクラブ)、岡崎敬規氏(七尾マリン協会)が、海上保安部長より、海上安全指導員に任命されました。

金沢海上保安部管轄(令和3年12月現在)

指導員名	パトロール艇名	当会会員所属先
池田 栄治		羽咋マリクラブ
池田 悟	いけだ丸	羽咋マリクラブ
瀬戸 明	太陽丸	羽咋マリクラブ
八島 七郎		羽咋マリクラブ
山辺 功	やまざん丸	羽咋マリクラブ
宇野 秀幸		マリフィッシングC
中西 善隆	MAN・2	マリフィッシングC
野中 修	SANEI2	マリフィッシングC
濱田 英一	海恵	マリフィッシングC
南野 吉宏		マリフィッシングC
山崎 清弘	Arcadia	マリフィッシングC
円角 一明	ENKAKU-M	さざなみマリクラブ
上田 雄次	春風	手取会
田中 薫	Daimino	手取会
竹内 信夫	すえひろ	手取会
鷲尾 幸博	Dragon Horse	手取会
今出 勝雄		小松マリクラブ
表 裕	MANA	小松マリクラブ
中野 清孝	愛悠丸	小松マリクラブ
山崎久次郎	山久丸	小松マリクラブ
河本 一男	Little Lily	加賀マリクラブ
白木 眞一	第二夕顔	加賀マリクラブ
山本 芳行	第五開進丸	橋立マリクラブ
新宅 清治	新清丸	個人会員
藤元 浩司	藤丸	個人会員
細川三千夫	MY-III	個人会員
水本 正幸	水丸II	個人会員
本村外茂由	陽光丸	個人会員

七尾海上保安部管轄(令和3年12月現在)

指導員名	パトロール艇名	当会会員所属先
梶 雅彦	寧豊丸	長浜マリン協会
坂 登三雄	白山丸	長浜マリン協会
従二 恵二	ひかり	長浜マリン協会
井上 巖	YUURI	輪島マリン協会
板谷 秀次		輪島マリン協会
中尾 雅夫	海龍	輪島セーリング協会
金岩 金光	金岩丸	中居マリン協会
松村 政揮	松輝丸	中居マリン協会
岡川純一郎	海王丸	七尾マリン協会
岡崎 敬規	OKAZAEMON丸	七尾マリン協会
多田 征志	S・T	七尾マリン協会
中越 政秀		七尾マリン協会
橋場 義久	貴丸	七尾マリン協会
川尻 和良	第二翔和丸	雌島クラブ
田中 孝三	あかね	雌島クラブ
西村 武		雌島クラブ
皆川 恵太	恵丸	雌島クラブ
村田 章	第3裕清丸	雌島クラブ
濱田 康司		個人会員

会員クラブ順・50音順

## 海上安全指導員の新しいユニフォームを作成しました。

これまで海上安全指導員の統一したユニフォームがありませんでしたが、今後の海上や沿岸での活動を遠くから認知できるように、統一したユニフォームを作成しました。

★ユニフォームは冬用と夏用があります。

★指導員の皆様には令和4年度に順にお渡しいたします。



## 同じ海の仲間としてすべきことの基本の大切さを指導いただきました。

### 吉田副会長を偲んで

当会の副会長として、また加南支部、および小松マリクラブのリーダーとして長年事業を推進いただいた、吉田憲孝氏が、8月に逝去されました。

20年前、当会がNPO法人に認定される以前から、協会発足に関わり、海上安全指導員活動はもとより、地域の係留問題や、子供たちへの海洋体験などを先陣を切って推進されており、当会の法人化の礎を築いていただきました。

行うべきことの本質を見失うことのないよう、常に注意喚起と行動を率先し、小松・美川の海域での合同海難訓練を毎年実施されました。またクラブ内に救助部を編成し、転落者や行方不明者が発生した際は、いち早く捜索活動を指揮され実践しました。

漁業者であろうと海水浴の市民であろうと、同じ海の仲間命を守る、助けることが最優先、近年その「あたりまえのこと」が難しくなっていることを指摘され、活動を続けられました。

また小松梯川の係留については、省庁や自治体に安全性の確保を訴え、地域の関係者の理解と協力を求め続けられました。そしてついに暫定係留として認可され、施設が完成。河川の新たな景観づくりにもなりました。

2019年には長年の海上安全活動が称えられ、国土交通大臣賞を授与されました。

家族や仲間のことをいつも気にかかけ、大好きな沖縄にも交流がある方々と共に何度も訪れ、沖縄の各地を案内されるというきめ細かな心遣いもされました。

生前吉田さんは「何か新しいことを成すときには誰かから誤解されたり、悪く見られたりしても仕方がない、それより海を愛する仲間の喜ぶ顔が見たい」ということをいつも笑顔で語っておられました。

ご冥福をお祈りいたします。





# スナップ

石川県防災訓練  
海難救助訓練 穴水町  
(能登支部)



春の安全パトロール 金沢港沖ポートに  
リーフレットを手渡し。(金沢支部)



夏の安全パトロール  
七尾港沖  
巡視船とともに出動  
(能登支部)



白山市小学校への海の安全教室  
DVD配布(加南支部)



安全指導員任命式  
岡崎氏  
七尾港



海事功労賞伝達式 七尾市  
当会の国土交通大臣賞受賞者  
左から竹内氏、中越氏、池田氏

